THE SCORE

●ギター難易度

この難易度マークは、あくまでその曲のギター・プレイについて、 単純に演奏テクニックの面に於いてのみ判断して付けたものです。 強なタッチ、フレーズのセンス等に関しては一切考慮されておりません。また、当然のことながら、そのギタリスト本来のテクニック・レベルとは必ずしも一致しないので、予めご了承下さい。



至高の名人芸! 究極のテクニック!!



タメ息級のプロ



やればできる!? の中級向き



脱初級!の試験



採譜&解説●猫田次郎

ノービス・クラス の練習問題に!



これだけは憶え たい!必修基本 テク

GUITAR SCORE

Needled 24/7

ニードルド 24/7/チルドレン・オブ・ボドム

from [HATE CREW DEATHROLL]/CHILDREN OF BODOM

(ユニバーサル インターナショナル © UICO-1048)

オープニング・アクトながら、先日の来日公演では存在感溢れる迫真のパフォーマンスを展開したアレキシ・ライホ率いるチルドレン・オブ・ボドムの新作から、まずはこのナンバーにトライ!





SECTION ORDER

PLAYING EXPLANATION

RIFF/BACKING

POINT-1

CD Time:0'00"

パワー・コードと6弦開放のブリッジ・ミュート・サウンドを絡めた16分のハード・ロック・リフ。ブリッジ・ミュートをしっかり掛け、ミュートとミュート以外の部分のサウンドを明確に区別してメリハリを出したい。16分オルタネイトによる正確なピッキングとブリッジ上の右手の使い方、またパワー・コードに於ける6弦ルート、5弦ルートの切り替え時(P-1、P-

2) に音切れしないよう注意しよう。

POINT-2

CD Time:0'10"

ハーモニクス&アームを用いた効果音的奏法。ハーモニクスは恐らく6倍音のポイントで発音していると思われる(P-3)。クリアーなサウンドが得られるように、ハーモニクス・ポイント(弦に触れるポイント)には充分注意しよう。右手はややアーム・ダウン状態でピッキングし、素速くアーム・リターン、続いて

徐々にアーム・アップしていく要領だ。

POINT-3

CD Time:1'20"

オクターヴ奏法によるプレイ。5弦を人差指、3弦を小指で押さえ、他の弦は人差指の先や腹等でミュートしておく(P-4)。右手で全弦をダイナミックにダウン・ピッキングし、サウンドに迫力を出そう。クリアーなオクターヴ・サウンドを得るため、不要弦のミュートは確実に…。



▲5弦ルートのパワー・コード。



▲同6弦ルート。ルート弦の切り替え時に注意。



▲3 f と 4 f の間、3 f 寄り1/3部分に触れて発音。

基本テク再点検!



▲5弦を人、3弦を小で押さえ、他弦はミュート。

CD Time:0'20"

*Basic Technique

P-a

▲開放弦ルートのパワー・コード(6弦ルート)。



▲通常のパワー・コード (5弦ルート)。

今回はロック・ギターのバッキングで最も基本的な、パワー・コードによるプレイを再確認してみよう。パワー・コードとは1、3、5度で構成される基本コードから3度の音を削除した、所謂1度・5度コードのこと。押さえ方は、開放弦ルート時はP-a、その他はP-bとな

る(5度音は薬指による押弦も可)。ポ

イントは、隣接弦……つまり6弦ルートの場合は4弦を小指(または薬指)の腹で、5弦ルートの場合は6弦を人差指の先(開放弦ルートの場合は親指)、3弦を小指(または薬指)の腹でしっかりミュートしておくことだ。ダイナミックなビッキングでクリアーなサウンドが出せるよう、その辺りを重点的に練習しよう。

0 0



▲1弦15f薬・14f中・12f人で押弦。



▲P-Aから人差指を移動し、14 f 小・12 f 中・10 f 人。



▲再び人差指を移動し、12 f 小・10 f 中・9 f 人。



▲そして最後は、10 f 小・9 f 薬・7 f 人へ



▲2弦5f人・7f薬の5fポジション・フォーム。



▲3 f人・5 f中・7 f小の3 fポジション・フォーム。



▲2、1弦6 f を中指を寝かせて押弦



▲2弦8fを小、3弦5fを人で押弦。

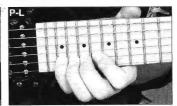


▲P-H後、素速く 3 弦15 f 薬へ移動しP.h。



▲P-Iからグリス・ダウンし、2、3弦3fを人で押弦。 ▲1弦20f小から17f人へクロマティック下降。





▲ 2 弦 トは21 f から18 f をクロマティック下降。

POINT-A CD Time:0'18"

イントロ部分、メイン・テーマへの導入フレーズ。 1弦のみを使い、段階的にポジションを下げながらプ レイしている (P-A~P-D)。 人差指による各ポジショ ン移動時のスムーズさがポイントだ。

POINT-B CD Time:0'20"

POINT-Aに続くメイン・テーマ。ポジション移動 を巧みに使った独特なフィンガリングだ。2小節目2 拍ウラで5 f ポジション (P-E)から3 f ポジションへ 移動、[2弦3f・5f・7f]はストレッチ・フォー ムとなり(P-F)、再び5 f ポジションへ移動している。 3~4小節目も1弦上で人差指を[5 f→3 f→2 f] とポジション移動しており、そこを音切れなくスムー ズにプレイできるよう練習したい。

POINT-C

CD Time:2'30"

ソロへの導入部となるフレーズ。3弦を主体とした ブリッジ・ミュート絡みのプレイだ。右手をブリッジ 上に"置く"、または"放す"タイミングには充分気を 付けよう。ピッキングは総てダウンだ。なお、1、3 小節目の2、1弦6fは、中指を寝かせて押さえた所 謂 "ジョイント" によるプレイとなる (P-G)。

POINT-D CD Time:2'42"

POINT-Cをフェイクさせたフレーズ。3弦15fの ピッキング・ハーモニクス&グリス・ダウンがポイン トとなる。2小節目3~4拍の[2弦8f・3弦5f] (P-H)からポジション移動し、3弦15fを薬指でグリ ス・ダウン (P-I)、続いて 2、 3 弦 3 f (P-J)を人差 指で押弦する訳だが、これらを8分リズムの中で行な うので、非常に素速い左手の動き(ポジション移動)が 要求される。まずはスロー・テンポで左手フィンガリ ング・パターンを確実に習得し、徐々にテンポ・アッ プしていこう。

POINT-E CD Time:2'58"

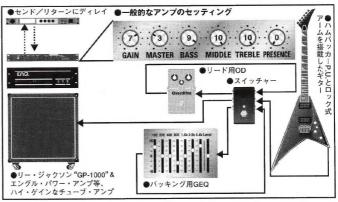
23 f ポジションを用いた高音部のプレイだ。24 f 仕様のギターを持っていない場合は、1小節目3拍、 2小節目1拍を共に1弦22fの素速いヴィブラート (薬指で押弦)で代用する手もアリだろう。頭の2弦16 fはアーム・ダウンした状態でピッキングし、素速く アーム・リターンしている。

POINT-F CD Time:3'00"

1 小節目の上昇フレーズはポジションの移動方法が 非常に独特なので、フィンガリングを要チェック。2 小節目は1拍目ウラからクロマティック・スケールを 使用しているが、1弦から2弦へ移る際にポジション が1 f 分シフトしている点に注意したい(P-K、P-L)。 そして3小節目はアーム・ダウン&リターンを駆使、 4小節目は1弦20fをトレモロ・ピッキングしなが らポルタメント・チョーキングだ。

当曲をライヴでプレイする際は、バッ キングの超ドンシャリ・サウンドと、一 転してファット系なリード・サウンドと のメリハリを再現することが最大のテー マとなる。バッキングは100Hz以下の口 -・エンドと 6 kHz以上のハイ・エンド を充分に伸ばしつつ、800Hz付近をカッ トした感じだ。リードは比較的フラット な音色だが 3kHz付近のアタックがしっ かり出ていて、同時に6kHz以上を少し 絞ったようなサウンドになっている。ア ンプをバッキングに合わせてセッティン グするとリードが痩せてしまうので、こ こでは逆にアンプはリードに合わせ、バ

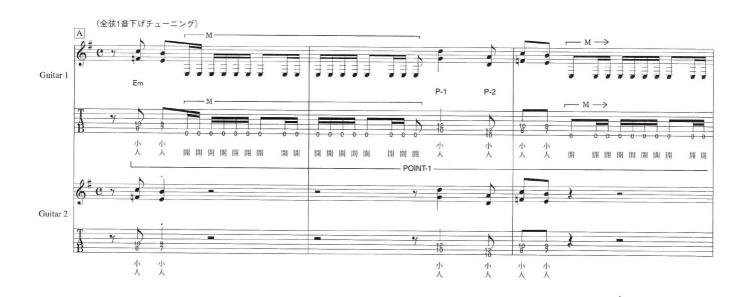
ッキング用にGEQを使ってみよう。 GEQは単なる谷型ではなく、必要な部 分だけ適度にブースト/カットして太さ とエッジをキープする。アンプをリード のゲインに合わせているので、[LEVEL] を数dB下げて歪みを抑えておこう。ま た、エフェクターに余裕があれば、リー ド/バッキングで2系統に分け、アンプ のゲインはバッキングに合わせ、リード 田に歪み系エフェクターを使う手もあ る。音質的にはこちらの方が高いはずだ。 リードにはステレオ・ディレイとリヴァ ーブが掛かっているが、ライヴでは薄く ディレイを掛ける程度で良いだろう。

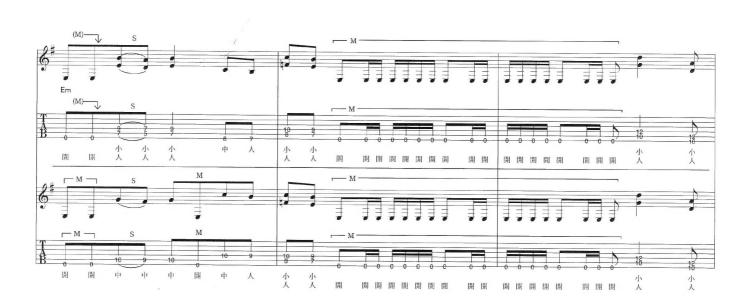


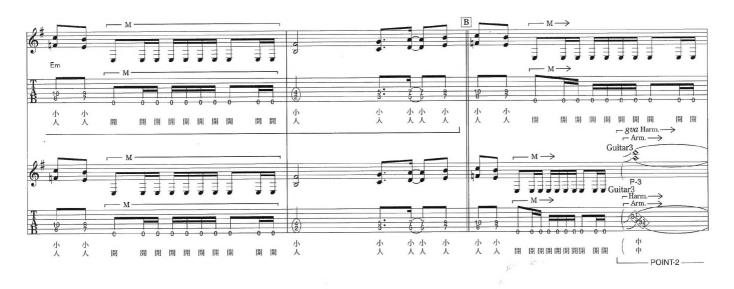
Needled 24/7

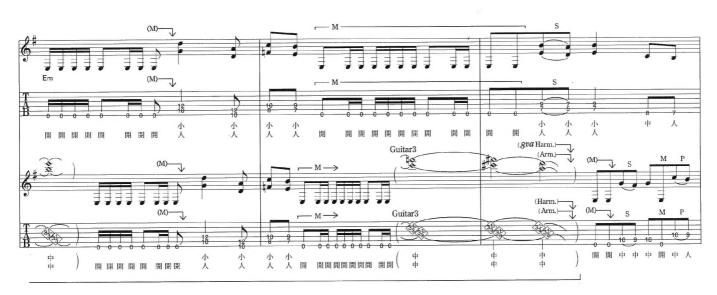
CHILDREN OF BODOM

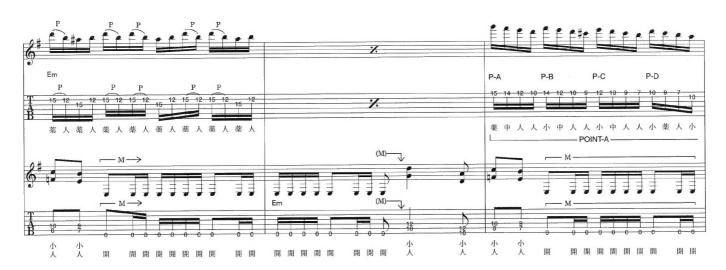
by A.Laiho

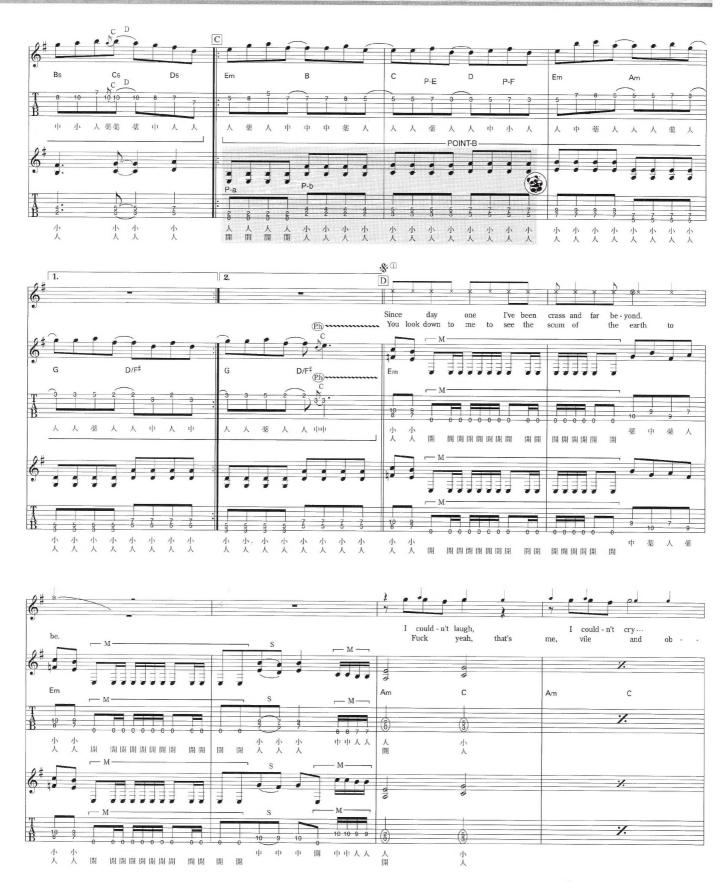












THE SCORE









THE SCORE

